

日本遺産「日本ワイン 140 年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」に関するアンケート調査報告

□□□□

令和 2 年度に、甲州市と牛久市（茨城県）が共同で提案した「日本ワイン 140 年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」が日本遺産に認定されました。現在、そのストーリーや関連する文化財群の整備・活用を通じて、国内だけでなく海外へも戦略的に発信し、地域づくりにつなげる取り組みを実施しています。今回、日本遺産について、市民のみなさまの認知度やその整備・活用についてのご意見をお伺いしたくアンケート調査を実施しました。いただきましたご意見を今後の取り組みに役立ててまいります。

□□□□

[調査の概要]

調査実施	2021 年 11 月末日～12 月 19 日
調査対象	勝沼地域 1075 世帯（勝沼地区 315 / 祝地区 311 / 東雲地区 236 / 菱山地区 213）
調査方法	対象エリア内全戸配布 / 郵送もしくはウェブによる回答
調査主体	甲州市教育委員会文化財課 / 山梨大学大学院総合研究部生命環境学域菊地研究室
回収数	334（地区別内訳は別記）
回収率	31.0%（勝沼地区 36.5% / 祝地区 31.8% / 東雲地区 22.0% / 菱山地区 31.0%）

I ご回答いただく方についてお尋ねします。

Q. 1 お住まいの地区を選んでください。

勝沼	115 (34.4%)
祝	99 (29.8%)
東雲	52 (15.7%)
菱山	66 (19.9%)

(n=332)

地区別データのうち

- は全地区の割合よりも 5% 以上高いもの
- は全地区の割合よりも 5% 以上低いもの

(母集団のサンプル数が少ないものについても便宜上付している)

Q. 2 ご回答される方の年齢について、あてはまるものを選んでください。

18 歳未満	1 (0.3%)
18 歳～29 歳	2 (0.6%)
30 歳～39 歳	14 (4.2%)
40 歳～49 歳	32 (9.6%)
50 歳～59 歳	60 (18.0%)
60 歳～69 歳	95 (28.5%)
70 歳～79 歳	84 (25.2%)
80 歳以上	45 (13.5%)

(n=333)

勝沼	祝	東雲	菱山
0 (0%)	0 (0%)	1 (1.9%)	0 (0%)
0 (0%)	1 (1.0%)	1 (1.9%)	0 (0%)
6 (5.2%)	3 (3.0%)	2 (3.8%)	3 (4.5%)
19 (16.5%)	6 (6.1%)	4 (7.7%)	3 (4.5%)
18 (15.7%)	22 (22.2%)	11 (21.2%)	9 (13.6%)
33 (28.7%)	26 (26.3%)	14 (26.9%)	22 (33.3%)
28 (24.3%)	22 (22.2%)	15 (28.8%)	18 (27.3%)
11 (9.6%)	19 (19.2%)	4 (7.7%)	11 (16.7%)

(n=115)

(n=99)

(n=52)

(n=66)

Q. 3 ご本人及び同居の方で、以下にお勤め／従事されている方はいますか。（複数回答可）

ワイナリー経営・勤務	16 (4.9%)
ブドウ栽培（専業）	117 (35.8%)
ブドウ栽培（兼業）	57 (17.4%)
観光農園経営・勤務	15 (4.6%)
あてはまるものはない	147 (45.0%)

(n=352)

勝沼	祝	東雲	菱山
5 (4.4%)	4 (4.1%)	4 (8.0%)	3 (4.6%)
40 (35.1%)	41 (42.3%)	13 (26.0%)	23 (35.4%)
17 (14.9%)	21 (21.6%)	6 (12.0%)	13 (20.0%)
8 (7.0%)	5 (5.2%)	0 (1.9%)	2 (3.1%)
54 (47.4%)	35 (36.1%)	28 (56.0%)	29 (44.6%)

(n=114)

(n=97)

(n=50)

(n=65)

II 日本遺産についてお尋ねします。

Q. 4 国（文化庁）が、地域の歴史文化を表現したストーリーを「日本遺産」として認定していることをご存知ですか。もっともあてはまるものをひとつ選択してください。

		勝沼	祝	東雲	菱山
内容も含めてよく知っている	61 (18.4%)	16 (14.0%)	23 (23.2%)	10 (19.2%)	12 (18.2%)
名前くらいは聞いたことがある	198 (59.6%)	75 (65.8%)	49 (49.5%)	29 (55.8%)	44 (66.7%)
知らなかった	73 (22.0%)	23 (20.2%)	27 (27.3%)	13 (25.0%)	10 (15.2%)
	(n=332)	(n=114)	(n=99)	(n=52)	(n=66)

Q. 5 勝沼地域を含むエリアが「日本ワイン 140 年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」として日本遺産に認定されていることをご存知ですか。もっともあてはまるものをひとつ選択してください。

		勝沼	祝	東雲	菱山
日本遺産に認定されたストーリーなども含めてよく知っている	57 (17.1%)	14 (12.2%)	23 (23.2%)	10 (19.2%)	10 (15.2%)
日本遺産に認定されたことくらいは聞いたことが、内容までは知らない	174 (52.3%)	63 (54.8%)	50 (50.5%)	20 (38.5%)	40 (60.6%)
知らなかった	102 (30.6%)	38 (33.0%)	26 (26.3%)	22 (42.3%)	16 (24.2%)
	(n=333)	(n=115)	(n=99)	(n=52)	(n=66)

III 日本遺産「日本ワイン 140 年史」についてお尋ねします。

以下は「日本ワイン 140 年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」として日本遺産に認定されたストーリー（概要）です。お読みいただいたうえで、つづく質問にお答えください。

国産ブドウを原料とし、日本国内で醸造される「日本ワイン」。その 140 年にわたる歴史において重要な地位を占めるのが山梨県甲州市と茨城県牛久市である。甲州市は地元のブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧 30 ものワイナリーを誕生させるに至った。牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立した。明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして民間の力で成し遂げたのである。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献した 2 つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなる。

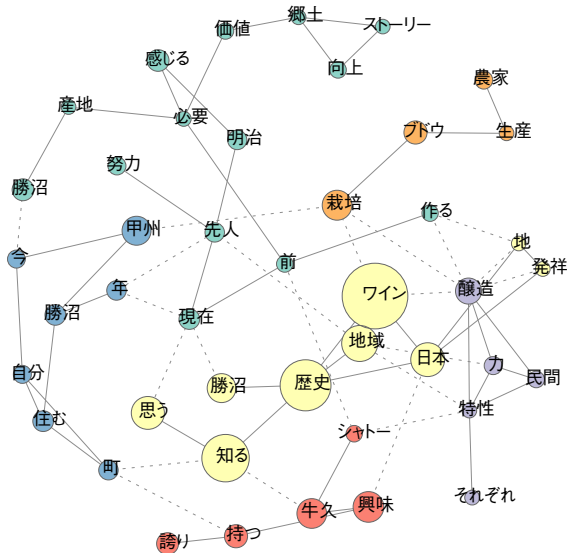
Q. 6 地元にお住まいのみなさんからみて、このストーリーには興味がわきますか。もっともあてはまるものをひとつ選択してください。

		勝沼	祝	東雲	菱山
非常に興味がわく	89 (28.2%)	27 (25.0%)	28 (30.1%)	18 (35.3%)	16 (25.4%)
少し興味がわく	120 (38.0%)	44 (40.7%)	44 (47.3%)	13 (25.5%)	18 (28.6%)
どちらともいえない	61 (19.3%)	17 (15.7%)	12 (12.9%)	12 (23.5%)	20 (31.7%)
あまり興味がわかない	36 (11.4%)	16 (14.8%)	8 (8.6%)	4 (7.8%)	8 (12.7%)
まったく興味がわかない	10 (3.2%)	4 (3.7%)	1 (1.1%)	4 (7.8%)	1 (1.6%)
	(n=316)	(n=108)	(n=93)	(n=51)	(n=63)

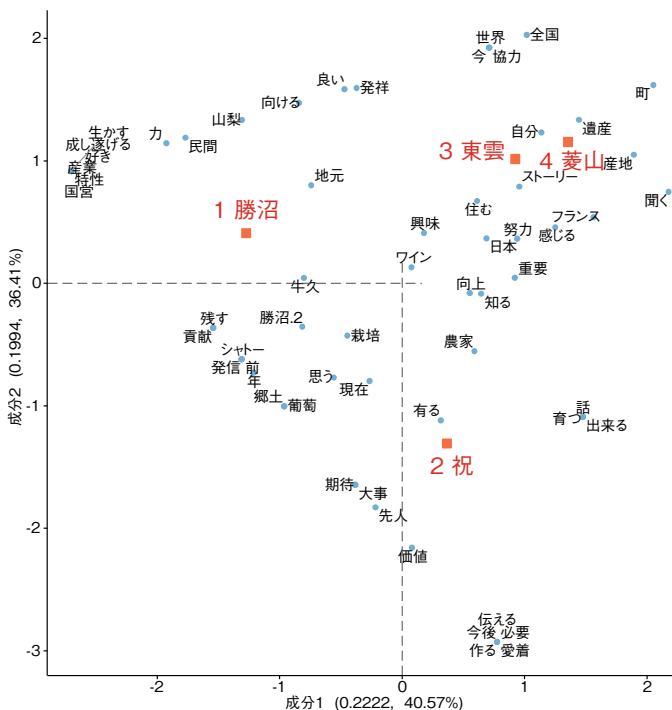
Q. 7 Q. 6 の回答を選択した理由を教えてください。

Q.6 で「非常に興味がわく」「少し興味がわく」を選択した場合の Q,7 の回答を整理すると、以下の図のようになりました。

4 回答以上で挙げられた単語と文章中での単語どうしの結びつきが示されています。



3 回答以上で挙げられた単語について、回答者の居住地域との関係が示されています。原点 (0,0) に近いほど、居住地域に関係なく使われている単語といえます。



Q. 8 日本遺産は4つのサブストーリーで構成されています。このなかで、もっとも興味・関心がわくストーリーをひとつ選択してください。

官営から民営へ。日本ワイン史の第一歩が刻まれる	36 (12.0%)
日本初「シャトー」完成、分業体制で大規模生産化	13 (4.3%)
地域ぐるみでつくる一大ワイン産地の確立	194 (64.7%)
日本ワインの聖地ならではのシビックプライド	57 (19.0%)

(n=300)

勝沼	祝	東雲	菱山
16 (15.0%)	10 (11.2%)	5 (11.4%)	5 (8.5%)
7 (6.5%)	4 (4.5%)	1 (2.3%)	1 (1.7%)
68 (63.6%)	62 (69.7%)	26 (59.1%)	38 (64.4%)
16 (15.0%)	13 (14.6%)	12 (27.3%)	15 (25.4%)

(n=107)

(n=89)

(n=44)

(n=59)

IV 日本遺産「日本ワイン 140 年史」についてお尋ねします。

Q. 9 日本遺産を活かした観光客誘客に向けた取り組みを推進することについての賛否としてもっともあてはまるものをひとつ選択してください。

積極的に実施したほうがよい	167 (51.9%)
どちらかというを実施したほうがよい	96 (29.8%)
どちらともいえない	42 (13.0%)
どちらかというを実施する必要はない	12 (3.7%)
実施する必要はない	5 (1.6%)

(n=322)

勝沼	祝	東雲	菱山
56 (50.0%)	50 (52.6%)	29 (59.2%)	32 (49.2%)
33 (29.5%)	26 (27.4%)	14 (28.6%)	22 (33.8%)
15 (13.4%)	15 (15.8%)	5 (10.2%)	7 (10.8%)
6 (5.4%)	3 (3.2%)	0 (0%)	3 (4.6%)
2 (1.8%)	1 (1.1%)	1 (2.0%)	1 (1.5%)

(n=112)

(n=95)

(n=49)

(n=65)

【Q.9で「1 積極的に実施したほうがよい」「2 どちらかというを実施したほうがよい」を選択した方のみお答えください。】

Q.10 具体的に期待される取り組みはどのようなものですか。もっともあてはまるものを**最大3つ**まで選んでください。

		勝沼	祝	東雲	菱山
専用のホームページによる情報発信	123 (47.5%)	45 (51.7%)	32 (42.1%)	19 (44.2%)	27 (51.9%)
市役所ホームページによる情報発信	57 (22.0%)	15 (17.2%)	18 (23.7%)	10 (23.3%)	13 (25.0%)
観光協会ホームページによる情報発信	85 (32.8%)	31 (35.6%)	29 (38.2%)	10 (23.3%)	14 (26.9%)
パンフレット（紙媒体）による情報発信	46 (17.8%)	12 (13.8%)	14 (18.4%)	9 (20.9%)	11 (21.2%)
SNS（twitterなど）を通じた情報発信	109 (42.1%)	42 (48.3%)	32 (42.1%)	20 (46.5%)	15 (28.8%)
現地ガイドツアー（無料）の実施	72 (27.8%)	26 (29.9%)	18 (23.7%)	12 (27.9%)	15 (28.8%)
現地ガイドツアー（有料）の実施	24 (9.3%)	7 (8.0%)	7 (9.2%)	5 (11.6%)	5 (9.6%)
音声ガイド等の充実	5 (1.9%)	0 (0%)	4 (5.3%)	0 (0%)	1 (1.9%)
ガイドンス施設の機能強化	8 (3.1%)	3 (3.4%)	1 (1.3%)	2 (4.7%)	2 (3.8%)
モデルコース等の増加	29 (11.2%)	11 (12.6%)	5 (6.6%)	7 (16.3%)	6 (11.5%)
解説看板の増設	10 (3.9%)	3 (3.4%)	4 (5.3%)	1 (2.3%)	2 (3.8%)
解説看板の多言語化（外国語対応）	11 (4.2%)	2 (2.3%)	4 (5.3%)	3 (7.0%)	2 (3.8%)
レンタサイクルを活用した取り組み	7 (2.7%)	5 (5.7%)	1 (1.3%)	0 (0%)	1 (1.9%)
ワイナリー等と連携したイベント開催	60 (23.2%)	20 (23.0%)	20 (26.3%)	9 (20.9%)	11 (21.2%)
日本遺産を活かした商品開発	17 (6.6%)	6 (6.9%)	6 (7.9%)	3 (7.0%)	2 (3.8%)
日本遺産を活かした地域産品のブランド化	22 (8.5%)	7 (8.0%)	4 (5.3%)	4 (9.3%)	7 (13.5%)
その他	15 (5.8%)	4 (4.6%)	7 (9.2%)	1 (2.3%)	3 (5.8%)
	(n=343)	(n=87)	(n=76)	(n=43)	(n=52)

Q.11 日本遺産の認定やそれを活かした取り組みの推進は、勝沼地域にお住まいのみなさんが地域に対する愛着や誇りを高めることにつながると感じますか。もっともあてはまるものを**ひとつ**選択してください。

		勝沼	祝	東雲	菱山
とても思う	147 (45.4%)	48 (42.5%)	45 (47.9%)	25 (50.0%)	28 (42.4%)
どちらかと思う	124 (38.3%)	49 (43.4%)	33 (35.1%)	17 (34.0%)	25 (37.9%)
どちらともいえない	41 (12.7%)	12 (10.6%)	14 (14.9%)	6 (12.0%)	9 (13.6%)
どちらかと思うと思わない	6 (1.9%)	1 (0.9%)	1 (1.1%)	1 (2.0%)	3 (4.5%)
まったく思わない	6 (1.9%)	3 (2.7%)	1 (1.1%)	1 (2.0%)	1 (1.5%)
	(n=324)	(n=113)	(n=94)	(n=50)	(n=66)

Q.12 日本遺産を活かした市民向けの地域づくりの取り組みを推進することについて賛否として**もっともあてはまるものをひとつ**選択してください。

		勝沼	祝	東雲	菱山
積極的に実施したほうがよい	129 (41.1%)	44 (40.4%)	35 (38.0%)	22 (44.9%)	27 (42.9%)
どちらかというを実施したほうがよい	116 (36.9%)	41 (37.6%)	39 (42.4%)	16 (32.7%)	20 (31.7%)
どちらともいえない	49 (15.6%)	18 (16.5%)	12 (13.0%)	8 (16.3%)	11 (17.5%)
どちらかというを実施する必要はない	10 (3.2%)	2 (1.8%)	3 (3.3%)	2 (4.1%)	3 (4.8%)

実施する必要はない	10 (3.2%)
	(n=314)

4 (3.7%)	3 (3.3%)	1 (2.0%)	2 (3.2%)
(n=109)	(n=92)	(n=49)	(n=63)

【Q.12 で「1 積極的に実施したほうがよい」「2 どちらかというを実施したほうがよい」を選択した方のみお答えください。】

Q.13 具体的に期待される取り組みはどのようなものですか。もっともあてはまるものを**最大3つ**まで選んでください。

まちあるきイベントの開催	61 (25.1%)
講演会・勉強会等の開催	17 (5.1%)
市広報等における関連記事等の連載	36 (10.8%)
学校などでの若年層の学習機会の増加	55 (16.5%)
ガイド養成の推進	4 (1.2%)
清掃や景観整備に関するイベントの開催	36 (10.8%)
CATV・ホームページ等での情報提供	19 (5.7%)
牛久市への訪問ツアーの開催	7 (2.1%)
その他	8 (2.4%)
	(n=243)

勝沼	祝	東雲	菱山
20 (23.5%)	21 (28.4%)	12 (33.3%)	8 (17.0%)
2 (2.4%)	8 (10.8%)	2 (5.6%)	5 (10.6%)
11 (12.9%)	6 (8.1%)	7 (19.4%)	11 (23.4%)
24 (28.2%)	14 (18.9%)	9 (25.0%)	8 (17.0%)
2 (2.4%)	1 (1.4%)	1 (2.8%)	0 (0%)
11 (12.9%)	12 (16.2%)	3 (8.3%)	10 (21.3%)
9 (10.6%)	7 (9.5%)	0 (0%)	3 (6.4%)
4 (4.7%)	1 (1.4%)	2 (5.6%)	0 (0%)
2 (2.4%)	4 (5.4%)	0 (0%)	2 (4.3%)
(n=85)	(n=74)	(n=36)	(n=47)

日本遺産「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文 化の結晶～」に関するアンケート調査へのご協力のお願い

甲州市教育委員会文化財課
山梨大学大学院生命環境学域葡萄地研究室

令和2年度に、甲州市と牛久市（茨城県）が共同で提案した「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文文化の結晶～」が日本遺産として認定されました。現在、そのストーリーや関連する文化財群の整備・活用を通じて、国内だけでなく海外へも戦略的に発信し、地域づくりにつなげる取り組みを実施しています。

今回、日本遺産について、市民のみならず、市民のみなさまの認知度やその整備・活用についてのご意見をお願いしたくアンケート調査を実施します。いただきましたご意見を今後の勝沼地域における取り組みに役立ててまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 回答は5～10分程度で可能です。
- 調査への回答は世帯主でなくても構いません。また、複数の方にご回答いただけた場合は調査用紙をコピーいただくか、下記インターネットサイトよりご回答ください。
- ご回答の提出は以下のいずれかの方法でお願いします。いずれの場合も内容は同一ですので、ご都合に合わせてご選択ください。

①調査用紙へのご記入

→返信用封筒にて郵便ポストにご投函ください。

(2021年12月19日消印有効)

②インターネットサイトにおけるご回答

回答用 URL <https://forms.gle/c4XuzDNsGa4LVyQQA>



回答期限：2021年12月19日

- いただきましたご回答はすべて統計的に処理し、個人が特定できるかたちで公表することは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせください。
- 調査結果については、甲州市ホームページに報告書として掲載します。

お問い合わせ
甲州市教育委員会文化財課
〒404-8501 甲州市塩山山手町1085番地1
TEL 0553-32-5076

I ご回答いただく方についてお尋ねします。

- Q. 1 お住まいの地区を選んでください。
- 1 勝沼 2 祝 3 東雲 4 斐山
- Q. 2 ご回答される方の年齢について、あてはまるものを選んでください。
- 1 18歳未満 2 18歳～29歳 3 30歳～39歳 4 40歳～49歳
5 50歳～59歳 6 60歳～69歳 7 70歳～79歳 8 80歳以上
- Q. 3 ご本人及び同居の方で、以下にお勤め/従事されている方はいますか。(複数回答可)

- 1 ワイナリー経営・勤務 2 ブドウ栽培(専業) 3 ブドウ栽培(兼業)
4 観光農園経営・勤務 5 あてはまるものはない

II 日本遺産についてお尋ねします。

Q. 4 国(文化庁)が、地域の歴史文化を表現したストーリーを「日本遺産」として認定していることをご存知ですか。もともとあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 内容も含めてよく知っている 2 名前くらいは聞いたことがある
3 知らなかった

Q. 5 勝沼地域を含むエリアが「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文文化の結晶～」として日本遺産に認定されていることをご存知ですか。もともとあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 日本遺産に認定されたストーリーなども含めてよく知っている
2 日本遺産に認定されたことくらいは聞いたことが、内容までは知らない
3 知らなかった

III 日本遺産「日本ワイン140年史」についてお尋ねします。

以下は「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文文化の結晶～」として日本遺産に認定されたストーリー(概要)です。お読みいただいたうえで、つづき質問にお答えください。

国産ブドウを原料とし、日本国内で醸造される「日本ワイン」。その140年にわたる歴史において重要な地位を占めるのが山梨県甲州市と茨城県牛久市である。甲州市は地元産のブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーを誕生させたに至った。牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立した。明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして民間の力で成し遂げたのである。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献した2つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなる。

【裏面に続きます】

Q. 6 地元にお住まいのみなさんから見ても、このストーリーには興味がありますか。もっともあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 非常に興味がわく 2 少し興味がわく 3 どちらともいえない
- 4 あまり興味がわかない 5 まったく興味がわかない

Q. 7 Q. 6の回答を選択した理由を教えてください。

Q. 8 日本遺産は4つのサブストーリーで構成されています。このなかで、もっとも興味・関心があるサブストーリーをひとつ選択してください。

- 1 官営から民営へ。日本ワイン史の第一歩が刻まれる
【関連する文化財】龍蔵セラウ、『葡萄酒三説』及び葡萄酒三説草稿など
- 2 日本初「シャトー」完成、分業体制で大規模生産化
【関連する文化財】シャトーカミヤ(牛久市)など
- 3 地域ぐるみでつくる一大ワイン産地の確立
【関連する文化財】宮光園、大善寺、祝橋など
- 4 日本ワインの聖地ならではのシビックプライド
【関連する文化財】伝統あるワイナリーなど

IV 日本遺産を活かした取り組みの推進についてお尋ねします。

Q. 9 日本遺産を活かした観光客誘客に向けた取り組みを推進することについての賛否としてもっともあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 積極的に実施したほうがよい 2 どちらかというを実施したほうがよい
- 3 どちらともいえない 4 どちらかというと実施する必要がある
- 5 実施する必要がある

【Q. 9で「1 積極的に実施したほうがよい」「2 どちらかというと実施したほうがよい」を選択した方のみお答えください。】

Q.10 具体的に期待される取り組みはどのようなものですか。もっともあてはまるものを最大3つまで選んでください。

- 1 専用のホームページによる情報発信 2 市役所ホームページによる情報発信
- 3 観光協会ホームページによる情報発信 4 パンフレット(紙媒体)による情報発信
- 5 SNS (twitter など) を通じた情報発信 6 現地ガイドツアー(無料)の実施

- 7 現地ガイドツアー(有料)の実施 8 音声ガイド等の充実
- 9 ガイダンス施設の機能強化 10 モデルコース等の増加
- 11 解説看板の増設 12 解説看板の多言語化(外国語対応)
- 13 レンタサイクルを活用した取り組み 14 ワイナリー等と連携したイベント開催
- 15 日本遺産を活かした商品開発 16 日本遺産を活かした地域産品のブランド化
- 17 その他()

Q.11 日本遺産の認定やそれを活かした取り組みの推進は、勝沼地域にお住まいのみなさんが地域に対する愛着や誇りを高めることにつながると思いませんか。もっともあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 とても思う 2 どちらかというと思う
- 3 どちらともいえない 4 どちらかというと思わない
- 5 まったく思わない

Q.12 日本遺産を活かした市民向けの地域づくりの取り組みを推進することについて賛否としてもっともあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 積極的に実施したほうがよい 2 どちらかというと実施したほうがよい
- 3 どちらともいえない 4 どちらかというと実施する必要がある
- 5 実施する必要がある

【Q.12で「1 積極的に実施したほうがよい」「2 どちらかというと実施したほうがよい」を選択した方のみお答えください。】

Q.13 具体的に期待される取り組みはどのようなものですか。もっともあてはまるものをひとつ選択してください。

- 1 まちあるきイベントの開催 2 講演会・勉強会等の開催
- 3 市広報等における関連記事等の連載 4 学校などでの若年層の学習機会の増加
- 5 ガイド養成の推進 6 清掃や景観整備に関するイベントの開催
- 7 CATV・ホームページ等での情報提供 8 牛久市への訪問ツアーの開催
- 9 その他()

ご協力ありがとうございました。